

十勝川中流部川づくり 平成23年度試行地について

2011年2月4日 第5回十勝川中流部川づくりWS資料

平成23年度試行地について

- 1.目的
- 2.試行予定地箇所(案)
- 3.試行予定地の目的と調査項目

1.目的

今後の十勝川中流部における川づくりに向けて、平成23年度に試験的に樹林伐採及び河道掘削を行うことにより、自然環境に配慮した川づくりに必要な情報を得ることを目的とする。

2. 試行予定地箇所(案)

試行地はKP54付近、KP50付近、KP47付近の3箇所を想定



1. 相生中島上流右岸



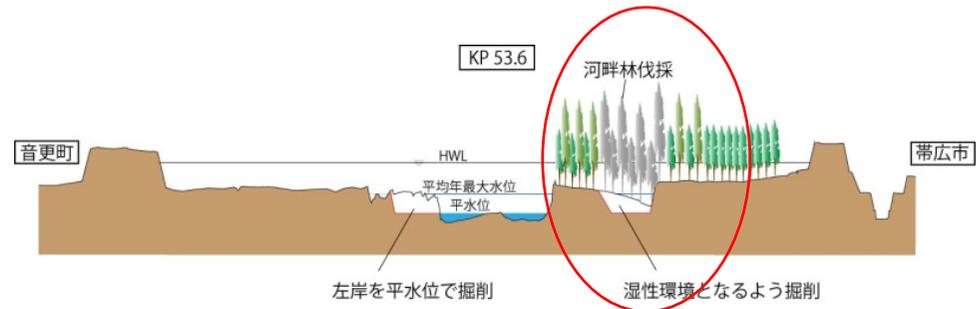
2. 相生中島下流左岸及び中洲



3. 十勝川温泉下流左岸

3. 試行予定地の目的と調査項目

① KP54付近(相生中島上流右岸)



【目的】

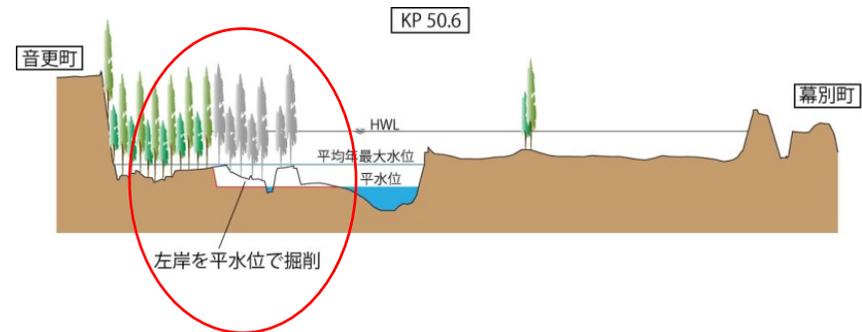
右岸河岸側の樹林を幅50mで保全し、その後背地の樹木を一部伐採するとともに、再樹林化を防止するために湿性環境を形成し、その後の水域形成状況や植生状況等をモニタリングする。

【調査項目】

- ・水域形成状況(水位、水深等)
- ・植生の進入状況等

3. 試行予定地の目的と調査項目

② KP50付近(相生中島下流左岸)



【目的】

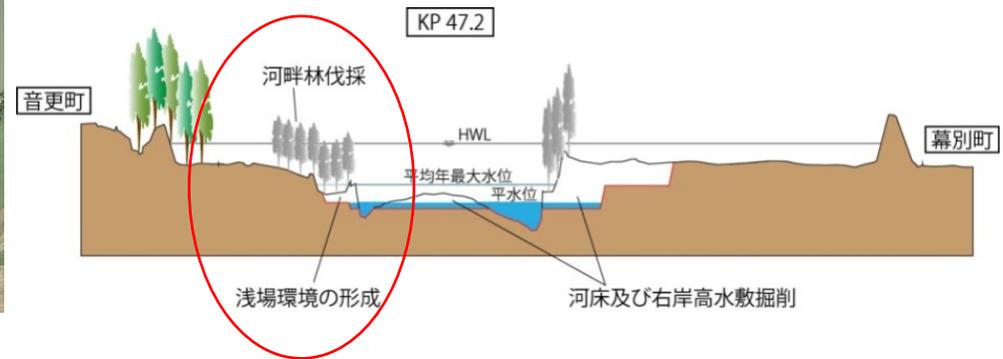
- ・河岸や樹林化した中洲を平水位等で掘削し、その後の出水等による環境変化(河床の状況や植生状況等)をモニタリングする。
- ・中洲樹林を伐採し、礫河原が継続して維持できるかどうかモニタリングする。

【調査項目】

- ・河床形状等(河床高、水深、河床材料等)
- ・植生の進入状況等

3. 試行予定地の目的と調査項目

③KP47付近(十勝川温泉下流左岸)



【目的】

河岸の樹林を伐採後に掘削の高さをいくつか変えて浅場環境を形成し、その後の浅場環境の変化をモニタリングする。

【調査項目】

- ・河床形状等(河床高、水深、河床材料等)
- ・植生の進入状況等